

主な事業（公共工事）

NO	県土整備部	災害に強い県土を築く治水・土砂災害対策	
実施目的	近年多発している局地的集中豪雨（ゲリラ豪雨）や大型化する台風などによる災害を未然に防止するとともに、被害の軽減を図るため、ハードソフト両面から治水対策や土砂災害対策を推進し、安心・安全な地域づくりを図ります。		
規 模	H26事業費	8,470,649 千円	
	平成 26 年度実施する内容 ①被害を軽減するハード対策 ・石田川ほか 45 箇所の河川改修など ・寺ノ沢ほか 59 溪流の土石流対策など ②被害を軽減するソフト対策 ・ハザードマップの作成支援等 ・土砂災害警戒情報システムの機能拡充など ③伊豆大島の土砂災害を踏まえた対策 ・避難所等を保全する施設整備 ・河川、堰堤、溪流における異常堆積土砂除去 ・水防活動・避難行動のためのソフト対策		
発注・進行状況	平成 26 年上期までに発注完了予定		
完成時期	①被害を軽減するハード対策（平成 26 年度～平成 34 年度完成予定） ②被害を軽減するソフト対策（平成 26 年度～平成 29 年度完了予定） ③伊豆大島の土砂災害を踏まえた対策（平成 26 年度～平成 28 年度完成予定）		
効果等	<p>平成 26 年度は治水対策として、河道の拡幅や既存堤防の強化対策などを実施し、菰川を完成させるなど事業を促進することにより、洪水による被害の軽減を図ります。</p> <p>土砂災害対策として砂防堰堤などを築造し、八木沢ほか 5 箇所の土石流対策及び、湯島地区のがけ崩れ対策が完成することにより、災害時要援護者関連施設及び避難所並びに人家を保全し、地域住民の安心・安全を推進します。</p> <p>また、昨年度伊豆大島で発生した大規模な土砂災害の教訓を活かし、土砂堆積の著しい河川や砂防施設において、堆積土撤去を推進することにより、台風などによる大規模な土砂災害に備えます。</p> <p>ソフト対策としては、市町村が作成する洪水ハザードマップの支援や土砂災害警戒情報システムの機能を拡充することにより、災害時の迅速かつ確実な避難活動を支援します。</p>		
担当所属	河川課・砂防課	連絡先	027-226-3618・027-226-3635
関連HP			